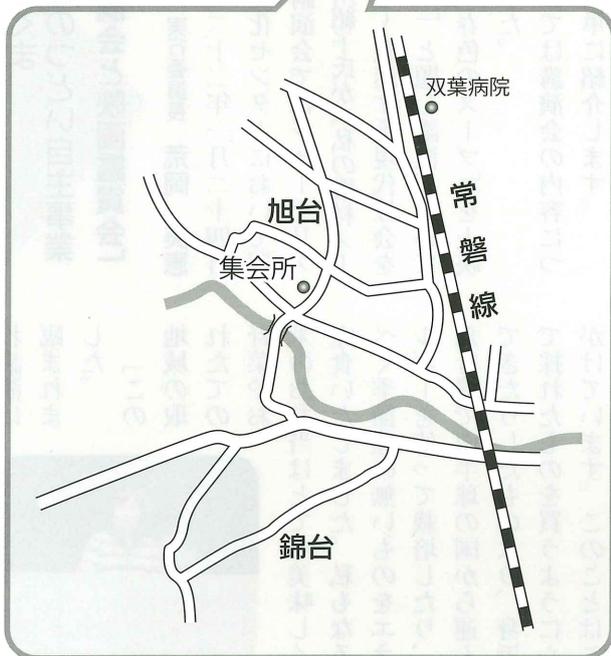
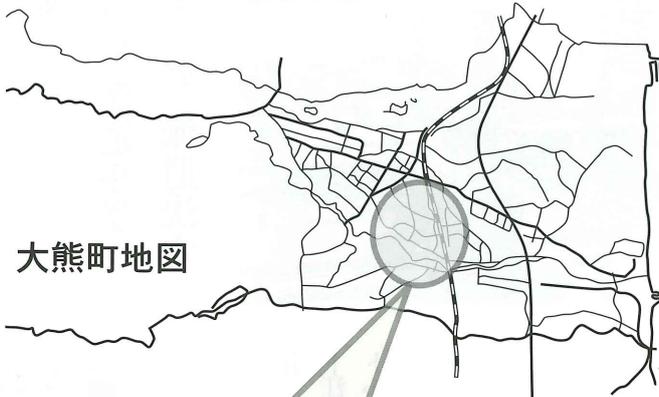


大熊町を 端から端まで 知りつくそう!

● 第8回 熊一区 区長 仲野 孝男



ふるさと 再発見

地区集会所を訪ねて



熊一区集会所

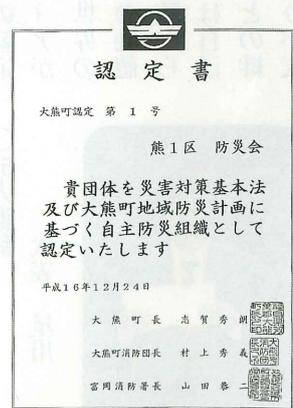
熊一区は現在戸数三〇二戸、旧来七〇戸だったところが、昭和六〇年代に町が旭台地区に宅地分譲したのを機に住宅が増加、町内随一の定住人口を有する地区になりました。

区長さんのお話から。

この地区では当時の阪神淡路大地震をきっかけに、平成十六年町内トップを切って、「熊一区防災会」を立ち上げ、災害対策基本法、並びに大熊町地域防災計画に基づく地域の自主防災組織として認定されました。

「自分たちの地域は

自分達で守る」をスローガンに地域住民全戸が結束し、災害に強い地域づくりを目指しています。年一回「ふれあい防災教室」を開催し大人も子どもも防災について学習し、意識の高揚に努めています。しかし、万一災害が発生した場合には範囲が広く当時つ



認定書

くった独自の防災マップでは対応しきれないとところも出てきたので早急に見直さなければならぬとおっしゃっていました。



熊一区防災会認定式
平成十六年十一月二十四日
大熊町役場町長室



事業としては区の運営委員会をはじめとして、春には全戸参加による区内の道路清掃を行い、終了後花見会をして親睦を深めています。又、防犯協会熊一区分会では道路の清掃、防犯パトロールなどを行い安心な地域づくりをめざしています。他に婦人会、育成会や老人クラブなど各部門でも定期的に自主的な活動をしています。地域の美化活動も盛んで花壇の花植えやリサイクルなど地域ぐるみで取り組んでいます。

熊一区婦人会長さんにお聞きしました。

婦人会(すみれ会)は昭和六十三年に発足し、会員同士が親睦を図り、楽しみながら住み良い地域づくりをめざし活動しています。区の行事にも積極的に参加し廃品回収や研修旅行、手芸教室「いちこの日」など数多くの行事があります。そのなかで「いちこの日」は毎月行っているふれあいの場です。

平成十二年は介護保険制度



がスタートし高齢者問題が話題となり私たち会員は地域の高齢者の方たちとの出会いを大切に、親睦を深めるために定期的に交流会をもちたいという気運が高まりました。そこで名称を「いちこの日」とし、一期一会を大事にし、毎月十五日と決め、平成十二年五月十五日より実施して十年目となりました。運営には利用者の会費と区、社会福祉協議会からの助成金で賄われ内容の充実を図っています。婦人会員と地域の高齢者の「いちこの日」の利用者が一



緒になり毎月行事を取り入れていきます。認知症の勉強会、野外活動、手芸教室、体操又、婦人会員のでづくりの昼食などと盛りだくさんです。「いちこの日」が地域に定着し待ち望まれていることに会員一同喜びを感じつつこれからも出会いの場となり「笑門招福」をモットーに笑いを大切に皆で大きな声で笑って楽しみながらこれからも活動したいと思います。又、婦人会ではそののエプロンを手作りし着用しています。これからも地域と共に歩んでいく熊一区婦



人会(すみれ会)でありたいと思います。

老人クラブでは三世代交流で花壇の花植えをしたあと夏までに三回の草むしり、手入れ、咲き終わったあとの片づけまで行い環境美化に力を入れています。また、日帰り旅行や一泊旅行を行って会員の親睦を図っています。

十一月には若木神社の掃除手芸教室(今年は布ぞうりづくり)などを行い、また、町の老人クラブ連合会行事のパークゴルフ大会にも参加するなどいきいきと活動しています。